

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区自転車スタート推進事業		堺区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	R3	R4	R5
堺区在住の幼児を対象に「初めての自転車教室」を実施し、安全な自転車の乗り方やヘルメット着用の意識付けを行う。また、幼児期から自転車に触れる機会を提供することで、堺が誇る産業である自転車を広く発信し、堺区への郷土愛の醸成を図る。	・幼児期から交通ルールや乗り方等を学ぶ自転車教室を実施することで、安全な自転車利用を促進する。また希望者を対象に自転車用ヘルメットを無償配付することで、幼少期からのヘルメット着用の意識付けができる。 ・歴史的にゆかりがあり、堺が誇る産業である自転車を広く発信することを通して、区民が地域の魅力を認識し、さらには地域の誇りや愛着につなげる。	保護者のヘルメットの着用率(%) 【自転車教室のアンケートデータ】	18.1	9	11
		自転車教室の参加者数(人)	221	339	257
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 本事業を通じて、交通ルールや乗り方、ヘルメット着用の意識づけを行うことで、自転車マナーの向上が期待できる。 また、幼少期から、堺区と歴史的にゆかりがある自転車を身近に感じることで、区民の郷土愛醸成に寄与している。	△ 3歳児健診を通じた参加者募集を行っていることから、行政が事業主体となることが望ましいが、ボランティア団体との協働なども検討の余地はある。	○ 堺区在住の3歳児の希望者にヘルメットを配付し、自転車教室を開催することで、安全な自転車の利用を促進しつつ、自転車にゆかりのあるまち堺区のPRにつなげることができている。	○ 3歳児健診時に、自転車教室の案内やヘルメット着用の必要性を保護者に説明することで、効率良く自転車ヘルメットの着用の意識づけができている。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ ヘルメットの無償配布については、子どものヘルメット着用率が高まっていることから、見直しできる可能性が高い。 また、自転車教室については、民間事業者が参加者から負担金をもらい、企画・運営することは難しいとは思いますが検討の余地はある。	○ 自転車教室を4回実施し、総参加者数は257人であった。子どものヘルメットの着用率は前年度に比べ3%の増加で85%になっており、保護者の着用率についても少しではあるが前年度から増加した。しかし、未だに保護者のヘルメット着用率が低い現状にあり、さらに令和5年4月1日から自転車利用者へのヘルメット着用が努力義務化されたことから、今後も引き続き、教室実施時に保護者へ周知を徹底していく。 また、アンケート集計結果の中でも「楽しかった」、「貴重な経験をすることができた」などの感想を多く頂き、自転車の乗り方や交通ルールについて楽しく学んでもらうことができた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
拡充 継続 見直し 廃止	自転車教室への参加希望者が多く、また交通ルールや自転車の乗り方などについては、楽しく学べているとのアンケート結果が多いため、次年度も自転車教室を実施する。 ヘルメットの無償配布については、子どものヘルメット着用率が高まっていることから、今年度で終了することとし、保護者のヘルメット着用率については、まだまだ低いため、今後も教室実施時に効果的な啓発を実施する。				